

日 時：令和元年11月1日（金） 18：03～19：53

会 場：建築士会会議室

出 席：

（常任理事兼委員長）芝 京子

（委 員）伊藤 誠一、玉野 直美、長瀬 光市、沼田 有二、畠 宏好、村島 正章、
八重野みどり

オブザーバー：長田副会長、宮林専務理事

<確認事項>

1 前回(9/18)議事録の確認 【資料1】

- ・異議なく承認

<協議・報告事項>

1 令和2年度建築士会予算の編成について【資料2】

- ・専務から予算編成に係る会長方針案を説明、特段の異議なく承認

2 シニア会員割引制度（仮称）について【資料3】

- ・専務から、講習会受講費用等のシニア会員割引（半額程度）方針案を説明、特段の異議なく承認。

3 「建築士の集い（活動交流会）」の開催方法について【資料4】

- ・専務から、理事会に上程する開催案について説明。所管委員会を創設する案の1と所管委員会・担当支部・担当委員会の協働開催とする案の2の2案を提示。

（質疑）

（委員）・活性化特別委員会では、交流会のための委員会を立ち上げて良いのでは、との意見も出ている。

（委員）・委員会再編の議論では、総務企画委員会を①総務財務委員会②事業調整委員会に分化させる方向が出ている。その意味でも現在の総務企画委員会が交流会開催のリーダーシップを取るの難しいだろう。

（委員）・支部の負担感は強いが、本会の何らかの委員会がメインで実施するならば、乗ってくれる余地はあると思う。

（委員）・実働部隊は若手の会員でないと動けないのではないか。

（委員）・青年委員会の卒業者で55歳程度までの会員を念頭に置くことも考えられる。

（委員）・案の1では、本会主導色が強すぎるように感じる。

（委員）・支部主催あるいは共催の良さは、支部活動の活性化が図れること。負担感はあるにしても、本会の旗振りが入るならば、支部も参加すべきと思う。

（委員）・本会にせよ、支部にせよ、「主管」することの具体的な役割分担の明確化が必要と思う。

（委員）・今までの議論でも、具体的な役割分担が見えてこない。コアとなる事業は本会の委員会の分担となるのではないか。

（委員）・担当の委員会を創設するのか、「委員会」といってもいわゆる「実行委員会」を組織し、本会から与えられた枠組みの中で実働部隊の役割を果たす形もあるだろう。いずれにしても、案の1というより、案の2との中間あたりに目標を置いてはどうか。

（専務）・ご提案も踏まえて案を見直してみる。理事会までは、次回委員会でもう一回議論の機会があるので、引き続き検討願う。

4 「熱闘建築甲子園」の来年度以降の実施方法について【資料5】

- ・専務から、令和2年度以降のリニューアル案を説明

（質疑）

（委員）・作品コンペというより、「インターン」を軸にしたリニューアル案と受け止め

- た。個人的にはコンペ的部分も捨てがたいと感じるが。
- (委員)・建設業業界が用意している「ワン・デー・インターンシップ」は良く利用されている。士会がインターン先確保に苦勞しているならば、そうした既存の仕組みを利用させてもらうことも考えてはどうか。
- (委員)・建設業まで本格的に視野に入れるとなると、やや間口が広すぎの感がなくもない。ただ、広い意味での建築関係業界の次世代育成、という位置づけで整理できれば別だが。
- (委員)・建築設計業界等への入職促進ということであれば、高校生のみをターゲットにせず、大卒者や中退者で建築に興味のある者も対象にしてはどうか。
- (宮林専務)・来年以降の公募にあたっては、学校ルートだけに頼らず、ネットも使うことを考えている。その場合、ご指摘のケースも想定して応募条件を緩めることも考えたい。
- (委員)・弊社で行っている技術研究所の公開イベントも、インターンの一環と捉えられるかもしれない。
- (委員長)・今回は参加者2名、応募作品2点との結果であったが、応募生徒や学校、さらに一般向けにどうフィードバックするのか？
- (副会長)・せっかく参加してくれたので、本人や学校への結果伝達は行いたい。また、優劣を強調しない形でホームページで公開することを考えたい。
- (委員)・作品コンペは、むしろテーマを絞ったほうが応募しやすくなると感じる。
- 5 令和2年新春賀詞交歓会について【資料6】
- ・専務から開催方針案を説明、異議なく承認。
- 6 建築士免許交付式について【資料7】
- ・専務から、一級合格発表の遅延に伴い交付式を2回開催し、2回目の付帯行事は、確認申請セミナーではなく、著名人の講演とする案を説明。
- (質疑)
- (委員)・今年の特殊事情として、2回目はあえて実施しない選択肢もあるのでは？
- (専務)・入会促進の機会であり、令和2年度以降は開催できないので頑張りたい。
- (委員)・1回目と2回目で付帯行事が異なるのは不公平感を生じないか。
- (委員)・同じ確認申請セミナーを行うにしても、安全協会だけをお願いするのではない選択もあると思う。
- (委員)・2回実施するのはやむを得ないと思う。ただ、「交流会」的要素を抱き合わせるのには意義が乏しいと思う。
- 7 会員増強に係る建築士試験制度改正への対応について（「準会員」・「お試し会員」など）
【資料8】
- ・専務から、お試し会員期間の見直しの必要性を説明、一同了承
- 8 その他
- ・特段の議論なし

[次回以降の委員会等について]

令和元年	(11月18日(月))	正副・常任理事会	15:00～
	11月20日(水)	11月総務企画委員会	18:00～
	(12月3日(火))	理事会	15:00～
	12月18日(水)	12月総務企画委員会	18:00～
令和2年	1月11日(土)	建築士免許(2級) 休日受付	13:00～15:00
	1月15日(水)	1月総務企画委員会	18:00～
	(1月23日(木))	正副・常任理事会	15:00～
	1月28日(火)	令和2年新春賀詞交歓会	18:00～
	(2月4日(火))	理事会	15:00～
	2月19日(水)	2月総務企画委員会	18:00～
	2月23日(日)	建築士免許(2級) 交付式	
	3月18日(水)	3月総務企画委員会	18:00～
	5月28日(木)	令和2年度 通常総会	14:00～16:00
		懇親会	16:00～18:00